



号外

松下玲子新聞

立憲民主党

東京18区(武蔵野市・小金井市・西東京市)

発行：立憲民主党東京都第18総支部 松下玲子事務所
〒180-0006 東京都武蔵野市中町1丁目21-8 イトーピア武蔵野プランマーク210
Mail:info@matsushitareiko.com 電話:0422-50-0696 Fax:0422-50-0697

2024年(令和6年)
7月22日月曜日

国会でも自治体議会でも女性議員を増やそう!

立憲民主党全国女性キャラバンが吉祥寺にやってきました!



コラム 選挙豆知識
女性の衆議院議員は、78年間に12人しか増えていない

いま、衆議院議員は465人の定数のうち、女性は51人。(令和6年5月13日現在)1割強です。

参議院は、248人のうち、女性は65人なので、約25パーセント、4分の1くらいです。テレビの国会中継を見れば気づきますが、衆議院と参議院は、かなり雰囲気違います。

女性が参政権を得てから行なわれた最初の選挙は1946年4月で、このときは、39人の女性議員が一挙に誕生しました。

0から、39です。いまとは異なり、大選挙区制度でしたので、単純な比較はできませんが、それから80年近くが過ぎていのに、いまは51人で、12人しか増えていないわけです。

参議院は1947年4月の最初の選挙で10人が当選し、いまは65人です。かなり増えました。でも、まだまだ少ないです。(編集部)

【左から、辻元清美 参議院議員、松下玲子、かみまち弓子 東村山市議、赤江なつ 北区議、五十嵐えり 都議、安田マリ 杉並区議、岩永きりん 板橋区議、きもと麻由 江戸川区議】

7月16日火曜日夕方、あいにくの雨でしたが、吉祥寺駅北口に、立憲民主党全国女性キャラバンがやってきました。

辻元清美キャラバン隊長のもと、西村ちなみ衆議院議員と、地元の菅直人衆議院議員、そして都内の女性自治体議員6名が集まり、前半は、松下玲子の司会でリレートーク。

それぞれがなぜ議員になったのか、いま、何をしているのかなどを語りました。板橋区議の岩永きりんさんは妊娠8か月の大きなお腹での参加でした。

西村ちなみ議員からは、選択的夫婦別姓導入に反対しているのは自民党だけだという訴え、辻元清美さんからは、都知事選後の蓮舫さんへの大手マスコミを含めたバッシングへの怒りの声も発せられました。

地元の衆議院議員としてマイクを持った菅直人さんから

は、女性に選挙権がなかった時代から活動されていた市川房枝さんの思い出話もありました。市川さんのような先輩がいて、最初は何もなかったところに細い道ができ、それが少しずつ広がって、いまの時代があるんだと再確認しました。

松下玲子は、最後にマイクを持ち、**都議会議員の時に出産をして、子育てと仕事の両立を阻む壁に幾度となくぶつ**

かったため、市長になって壁を取り除く努力を重ね政策実現をしてきた。自身の経験からも、女性の声、当事者の声を活かした政治が重要と訴えました。

終わった頃には雨も止み、聞いてくださった方々と直接お話しできました。お隣の杉並区からいらした95歳の女性から「若い人ががんばっていて、たのしい」と声をかけていただきました。(編集部)

LINE友だち募集中



日々の活動報告や、イベントの告知を配信しています

↑追加はコチラから



松下玲子 プロフィール

1970年生まれ。実践女子大学文学部卒業後、サッポロビール入社。2004年早稲田大学大学院経済学研究科修了。松下政経塾での研修を経て、2005年・2009年武蔵野市選挙区で都議会議員選挙に当選。2017年市民の要請により武蔵野市長選に立候補して当選、2021年に再選。2023年11月末退任。現在、立憲民主党東京都第18総支部長。趣味は料理、美術・演劇・映画・落語鑑賞。家族は夫と子ども。